

事業等名 みどりの食料システム戦略推進総合対策（令和4年度要求）

担当部局

大臣官房環境バイオマス政策課

（現状・課題）

- ・生産者の減少、温暖化や自然災害に伴う影響による生産基盤の脆弱化
- ・国際的には、SDGsや環境への対応強化など環境負荷軽減の流れ
- ⇒ 農林水産業や地域の将来も見据えた持続可能な食料システムの構築が急務

（現状・課題を示すデータ）

- ・農林水産分野のGHG排出量：約4,747万トン（2019年度）
- ・有機農業の取組面積：2万3700ha（2018年度）

インプット → アクティビティ → アウトプット → アウトカム（短期） → アウトカム（中期） → アウトカム（長期） → インパクト

R4 予算
(30億円)

地方自治体、地域の生産者や事業者等の連携による地域ぐるみのモデル地区創出を支援し、地域の特色ある農林水産業や資源を活かした持続的な食料システムを構築。

- 産学官と現場が連携して行うビジョン策定・計画策定【R4 目標：40件程度】
- 地域循環型エネルギーシステム【R4 目標：20地区程度】
- SDGs 対応型施設園芸【R4 目標：モデル産地 8 地区程度】
- 有機農業の団地化や学校給食等での利用【R4 目標：40地区程度】
- 栽培マニュアル
・産地戦略を策定した地区数【R4 目標：350地区程度】

フードサプライチェーンにおける関係者の行動変容と相互連携を促す環境整備を支援

- モデル地区における地域ぐるみの脱炭素化の加速化
・地産地消エネルギーシステムの構築
・SDGs 対応型施設園芸の確立
- モデル地区における化学肥料・農薬使用量低減の加速化
・有機農業の推進
・グリーン栽培体系への転換

環境に配慮されたマークのある食品・商品を選ぶことを意識している消費者の割合50%
(目標年度：2025年度)

農林水産分野の温室効果ガス排出削減 ▲3.5%
(目標年度：2030年度)

指標

農林水産業のCO2ゼロエミッション化
(目標年度：2050年度)

指標

有機農業の取組面積を6.3万haに拡大
(目標年度：2030年度)

指標

有機農業の取組面積を100万haに拡大
(目標年度：2050年度)

指標

産地戦略に基づきグリーンな栽培体系を实践
47都道府県
(目標年度：2027年度)

指標

・化学農薬の使用量を50%低減
・化学肥料の使用量を30%低減
(目標年度：2050年度)

指標

持続的な食料システムの構築

【外部の影響要因】

- ・みどりの食料システム戦略（令和3年5月12日農林水産省決定）
- ・経済財政運営と改革の基本方針 2021（令和3年6月18日閣議決定）
- ・成長戦略実行計画（令和3年6月18日閣議決定）
- ・成長戦略フォローアップ（令和3年6月18日閣議決定）